

近年になく寒い冬ですが、中変りもなく、中後輩で
いざいざと存じます。このたびは、中丁寧な手紙い
たいり、おそれ入ります。今年には研究室も生新の
氣を得て、ありがたうございます。

かねがね、おろして居たが、やうやく実現のほこい
に、私としても嬉しく思っています。大変いそがしく
しい、うっやわのぞかし。お報いするところま、ほんとに薄く
お氣の毒に存じますが、どうぞ中助力をねかいます。

中力に、よりすぐれた近代文藝研究者を養成して、いたることを
期待して居ります。学生も、さぞ、中お講を聴く、たう、ふこと
でせう。まだまだ、さむさが、ついて、ませう。どうぞ中自愛を、
あら、中返事、かたがた、中ね、おい、ま、い、づれ、お見にか、うて、

二月一日

五味智英

長谷川泉様

封

二月一日

